

令和3年度10月号



学校だより 「ことのは」

— 遠大なる理想 あふるる友情 不屈の闘志 —

〔発行者〕 たつの市立龍野東中学校 校長 道前弘志

〔発行日〕 令和3年10月1日



ひがドラ

秋、盛りに。

○朝校門の前で登校する生徒を迎えていると、目の前をたくさんのトンボが飛び交うようになりました。異常気象やコロナ禍にあっても季節は確実に移り変わっていきます。少し前の話になりますが、二学期の始業式の後のことです。生徒会による体育祭オリエンテーションが行われました。生徒会執行部の皆さんが図書室から Meet（オンライン）で各



教室に発信し、各教室の生徒がそれを視聴しました。大崎生徒会長が開会の挨拶の中で「一人一人が讃えられるような体育祭を」と

堂々と全校に呼びかける姿が印象的でした。内容が縮小され、無観客とはなりましたが、執行部や学年総務、各学級の代議員によって十分に練られた内容が次々と説明されました。

さて、オリエンテーションが始まる前、生徒会役員の皆さんが順に図書室に入ってきました。一人一人が配布されたタブレットを手にしています。子どもたちは、見事に使いこなしています。その姿がとても自然であることに、ほんの少し驚きのようなものを感じました。紙に頼ってきた私のような世代からすれば、実に「隔世の感」があります。

互いの「距離をとる」ことが求められる時代です。けれども、私たち人間は本来自分の気持ちを誰かに伝えたい、わかってもらいたいと願う存在でもあります。だからこそ、何気ない会話や挨拶、時には議論などを通して相手の考えを自分の考えに照らし合わせ、互いにわかり合おうとしてきました。その本質は今も変わらないはずで、私たちの生活の中で、ICTやSNSなどは縁の切れないものになりました。直接会うことや一緒に何かをすることが難しい今、デジタルの世界が特定の人を誹謗中傷するツールではなく、互いの心を埋め合えるツール（道具）であってほしいと思います。

○9月25日、26日の両日、西播大会代表決定試合（新人戦代替）が各地で実施されました。どの会場も感染対策を十分にとった上で、可能な限り試合数を減らすなどの工夫をしながらの実施となりました。各会場で、私は奇跡の大逆転や試合中にどんどん上達する姿、笑顔いっぱいプレーする姿など子どもたちの生き生きとした一瞬一瞬を見ることができました。また、苦しい場面で顧問の先生の「頑張

10月の主な行事予定

- 1日（金） 生徒委員会
- 4日（月） 教育実習開始
- 5日（火） 修学旅行
- 6日（水） 民推協企画委員会（神岡支部）
チャレンジ教室 ノー部活デー
- 9日（土）～10日（日） 西播新人大会
（野球、ソフトテニス）
- 12日（火） 中間考査
民推協企画委員会（小宅支部）
- 13日（水） 中間考査 ノー部活デー
少年を守る日
- 15日（金） 安全の日
- 16日（土）～17日（日） 西播新人大会
- 16日（土） 揖龍新人駅伝大会
- 18日（月） あたご・ふれあい学級
- 20日（水） チャレンジ教室 ノー部活デー
- 27日（水） 文化祭（赤とんぼホール）
ノー部活デー
- 30日（土） 西播駅伝大会

※コロナウイルス感染状況等により、予定が変更する場合があります。

れ」という声にエネルギーをもらい、劣勢をはねのける姿も印象的でした。結果は、部によって様々です。納得のいく結果もあれば、もっと勝ちたかったという思いもあったでしょう。でも、生徒一人一人の貴重な成長の機会となったことは間違いのないと思います。

爽やかということ

・9月18日（土）ギターマンドリン部の定期演奏会「サマーコンサート」を聴きに行ったことです。開会前に楽屋前の廊下を通ると、あちらからもこちらからも爽やかで明るい挨拶が聞こえてきました。「こんにちは」はもちろん、「ありがとうございます」と声をかけてくれた子も何人かいました。その声と、その表情はコンサートができるという喜びにあふれていました。



（別に私が何か尽力したわけではないのですが・・・）

・体育祭が終わった後「開催して下さいありがとうございました」というメッセージをくれた生徒もいました。

・私は、何もどんな状況にあっても行事や試合をすべきだとは思いません。生徒の健康と命を守るためには、ときに非情の決断を迫られることもあると思います。しかし、このとき私の目の前にあった、透き通るような素直な笑顔や言葉は、混じりけのない純粋なものであることだけは確かです。

自分の勤務する学校の生徒がこんなにも素直なことは、私たち教員にとって最大の喜びです。特に、このコロナ禍においては、その輝きのかけがえのなさを実感します。できない理由だけを考えるのではなく、たとえわずかでもできることを探していきたいと思います。

栄光の記録

- 男子バレーボール部 JOC 第35回全国都道府県対抗中学バレーボール大会
兵庫県選抜優秀選手賞 3年

- 揖龍読書感想文コンクール
優秀賞 3年 2年 1年
入選 3年 2年 1年

- 西播大会出場決定戦
バレーボール女子 1位通過 野球：ベスト4進出
卓球女子（団体）3位通過 個人：（2年）準優勝
卓球男子 4位通過
ソフトテニス男子 団体：2位通過

個人：ベスト8 組
ベスト16 組 組
ベスト24 組 組 組

- ソフトテニス女子 個人：ベスト16 組、組
- 兵庫県中学校陸上競技新人大会
2年男子100m 5位
- たつの市児童生徒発明工夫展出品者
「きれいな水へ！ろ過を体験」（1年）
「これって炭酸水？ そーだよ」（1年）
「花火のしくみー炎色反応を調べようー」（2年）
「表面張力の研究」（2年）

※これらの作品は11月6日（土）～11月10日（水）の期間、たつの市青少年館体育館に展示されます